



# JUSTICE

ジェイアール・イーストユニオン  
発行者 菅野 一位  
編集者 教 宣 部  
〒105-0021  
東京都港区東新橋 2-8-28  
TEL(JR) 057-7333  
TEL(NTT) 03-6452-9687

ホームページ検索  
「JREユニオン」

### 基本理念

1. 社員で考え、社員のための労働運動を目指す 企業内労働組合
2. 心とところをつなぐ相互扶助活動と、次代につなぐ社会正義の実現を目指す

自らを変える!! 明日を創る!! **イーストイノベーション**



JR連合結成30周年

「次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言」

記念行事開催!

10月6日(木)メトロポリタン池袋において、JR連合結成30周年記念行事が開催されました。

記念シンポジウムでは、第1部、関西大学経済学部教授宇都浄人氏が「社会インフラとしての鉄道：新たな時代における役割と課題」。

富山市前市長森雅志氏が「交通政策と都市政策の融合」について基調講演がなされました。

また、滋賀県知事三日月大造氏よりビデオメッセージが寄せられました。

第二部は、JR連合からの「提言」次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言「ONE TEAM」となり誇りを持つて社会に貢献し続けるために「」が提起されました。



第三部は、パネルディスカッションが行われ、「宇都宮浄人」氏、「パネリスト」「森雅志」氏、「JR西日本代表取締役副社長兼執行役員「倉坂昇治」氏と、「JR連合会長「荻山市朗」氏の四氏で行われました。



記念式典は飲食を伴わない短時間で行われ、連合吉野会長をはじめ各産別代表者、友誼団体、各関係団体代表者、斎藤国土交通大臣、国會議員懇談会会長榛葉会長、JR北海道、東海、西日本、九州、四国、貨物から経営幹部、JR連合歴代会表が参加されました。

代表してJR東海金子社長より祝辞が述べられました。記念セレモニーとして鏡開きが行われ、コロナ禍を乗り越え鉄道の発展とJR産業の持続的成長を誓いました。



## 次なる30年の強くしなやかなJR産業を創る5提言

～「ONE TEAM」となり誇りを持って社会に貢献し続けるために～

### 1. この間の歩みを基盤とし、次なる30年を見据えた課題

- 1-1 JR発足35年の軌跡と、現実を踏まえた対応の必要性
- 1-2 日本の交通政策の転換と、変革が求められる鉄道政策
- 1-3 コロナ禍による社会変容の加速と甚大な影響への対応
- 1-4 社会構造の変化、SDGs等の社会的要請に対応する必要性
- 1-5 産業の大転換期になすべきこととJR連合の決意

### 2. JRが「成し遂げたい改革」と「実現したい産業の姿」

- 2-1 「全てのJRにおける経営自立」と「日本の鉄道政策の変革」
  - (1) 全てのJRにおける経営自立
  - (2) 日本の鉄道政策の変革
- 2-2 成長分野のブラッシュアップと鉄道産業の発展を通じた経済・社会への貢献
  - (1) 鉄道特性の発揮を最大限に活かし、“強くしなやかなJR産業”を創る
  - (2) SDGs やカーボンニュートラル実現等といった社会的要請への対応という観点からの鉄道政策の再構築
- 2-3 公共性の高い不変の役割である輸送サービスを持続的に提供し、全員参画型社会を創るための環境づくり
- 2-4 働く者が安心を基礎に意欲高く業務を遂行し変革を推進できる環境づくり
  - (1) 多様な人財が「安心」を基礎に意欲を持って働き続けられる環境の創出
  - (2) 職場内、組織内、組織間のコミュニケーションが溢れる労働環境の創出
  - (3) 「オールJR」での「変化に対応できる人財」の育成
  - (4) 健康管理・安全を前提に、産業全体を意識した業務遂行体制構築の必要性
- 2-5 JR各社および労使が「ONE TEAM」となった連携・協働